

先祖の最相家を探る

龍ノ口山城跡

〔岡山市中区祇園～四御神〕

和尚の口から「龍ノ口」という名を聞いたときはまだ昭和だった。…

「さいしやう最相の先祖はどこからきたのでしょうか」

それをきくと読むと、「川中島で死んだ武田信玄の弟の嫁が、子を連れて逃げこんだのがタツノクチじゃ。タツノクチは備前にある。それが身を隠すために、武田の姓を捨ててサイショウと名乗ったんじゃないかと喚くように忘れた。弟の嫁たちは、どうしてそんなに追われていたのだろうか。」

「サイショウとはどうしてつけたのですか。その意味は」：「最、スグレタ、最高。相、スガタ、大臣」と罪紙に書いた。

岡山平野の北方、旭川河岸にそびえる龍の口山の北面に築かれた山城である。龍之口八幡宮が鎮座する主郭の東側には、土塁で囲まれた長い曲輪が造られている。ここからさらに東へと延びる尾根筋には、深さ約5mの堀切が設けられ、それを挟んで数段の小曲輪が認められる。城主は、岡山平野の旭川東岸地域を支配した穢所氏であった。

参考：「岡山県中世城館跡総合調査報告書 第1冊―備前編―」岡山県教育委員会

龍ノ口山城跡

